

ようりんはこのような効果があります



分けつがふえ、茎葉がかたくなり、病害虫に強くなります。穂肥が思いきってやれるので品質のよい米が増収できます。また低温の年にはさらに効果が高まります。



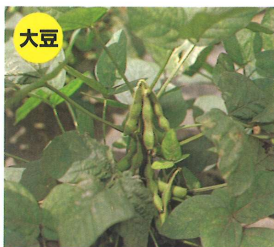
色のよい、おいしい、新鮮度が長持ちする野菜がとれます。



きれいな肌、あま味が高く、風味のある果実ができます。



穂数がふえ、寒さに強くなります。けい酸の効果が高いので、麦は健全に生育し、病害虫に強くなり倒伏防止に役立ちます。穂実が向上し、品質の良い麦が増収できます。



つるぼけをおさえ、蛋白質を高めて良質多収につながります。



ミネラルをたっぷり含んだ栄養価が高く、好性の良い飼料作物が増収できます。牛の起立不能症などの発生予防にもなります。

ようりんはこのようなお使いください

●水田のでき秋、土づくりに…

秋の刈取後、水田にちらばっている稲わらに、ようりん(またはBMようりん)3～5袋と石灰窒素1袋を散布し、年内にすきこんでください。

●畑地の地力向上に…

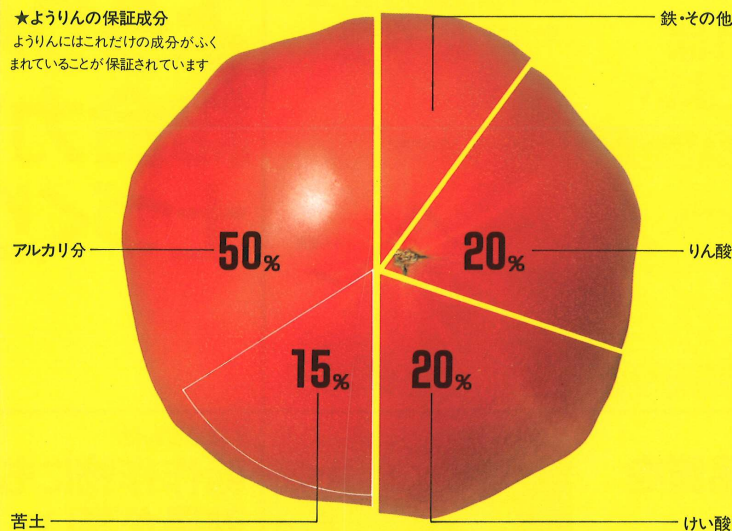
微量要素を補給し、養分バランスのとれた土づくりに、ようりん(またはBMようりん)が最適の資材です。耕起前に各作ごとに3～5袋をすきこんでください。

●果樹園の土づくりに

長年にわたりいつの間にか土がやせて来ます。毎年、ようりん(またはBMようりん)2～3袋を冬期または早春の耕起前に施して、土壌改良をしてください。表面散布の場合には4～5袋お使いください。

★ようりんの保証成分

ようりんにはこれだけの成分がふくまれていることが保証されています



ようりん

ようりんの10大特性

1.ようりんはムダなく根に吸われる

ようりんの有効成分は、土や根の酸によってゆるやかにとけ、はじめから終わりまで、作物によく吸収されます。



2.ようりんはひとつで4つのはたらき

りん酸のほかに、石灰、苦土、けい酸がバランスよく豊富にふくまれていますので、4種類の肥料を使うのと同じ効果があります。

